

・文章を読んで、質問に答えましょう

セミは、夏になると鳴き声が聞こえる身近な昆虫です。しかし、一生の多くを土の中で過ごしていることは、あまり知られていません。

セミの幼虫は、卵からかえった後、土の中にもぐり、木の根から樹液を吸って成長します。この期間は種類によって異なりますが、数年から十数年に及ぶものもあります。

十分に成長すると、幼虫は夜になると地上へ出てきて、木や壁につかまり羽化を始めます。羽化したばかりのセミは体が白っぽく柔らかいですが、時間がたつと体は茶色くなり、殻もかたくなります。成虫になったセミは、一般的に1～2週ほどで一生を終えます。

1. セミの幼虫は、どこで何を食べて成長しますか。

()

2. 幼虫は、どのくらいの期間、土の中で過ごしますか。

()

3. 幼虫は、いつ、どこで羽化を始めますか。

()

4. 羽化したばかりのセミの体は、どのような様子ですか。

()

5. 成虫になったセミは、一般的にどのくらい生きますか。

()

★発展コミュニケーション

- ・ 夏の風物詩といえば、蝉以外になにがありますか。
- ・ 子どもの頃にセミ取りをしたことがありますか。

氏名 _____ 年 _____ 月 _____ 日()